

生徒会役員選挙 新体制へ

12月9日（水）に、令和4年度生徒会の役員選挙が行われました。立会演説会では、どの候補者もやる気と意気込みを感じる演説で公約を訴えていました。全校生徒は来年度の“修英”を任せるリーダーを選ぼうと、真剣に聞き入っていました。その後の投票で、生徒会長には藤田斗唯くん、副会長には原子翔くん、嶋貫遥斗くんが選出されました。



大仙雪まる隊 出動式参加！

本校から福祉活動部部長の田口翠さん（2年）が出席しました。



あいさつをする大信田会長

除雪ボランティア「大仙雪まる隊」(大信田孝文会長)の出動式が6日、大仙市健康福祉会館1階大会議室で行われた。隊員44人が出席し、気持ちを一つにした。

例年、大仙市が実施する市民や行政、事業所が一丸となって雪に立ち向かう機運を高める「ゆき・まち」だ いせん」へ参加していたが、昨年に続きコロナ禍で中止になったことから雪まる隊単独で出動式を行った。

一丸となって

大仙雪まる隊の出動式



気持ちをひとつに右手をあげる隊員

出動式では西山光博副市長と大仙市社会福祉協議会の佐藤力会長が祝辞を述べた。

その後大曲中学校野球部2年の太田広翔さんと秋田修英高校2年の田口翠さんの「がんばろうコール」に合わせて隊員は右手を高々とあげて気持ちを高めた。

出動式に先立って総会も行われ、令和3年度活動計画案や収支予算ほか活動報告が行われた。令和2年度の活動実績は238件。その内半数が中高生の力で添えて支えられた。

大信田会長は「これまで多くの市民から活動登録を頂き、大仙雪まる隊は今年で16シーズン目を迎えた。地域貢献を果たすことができていると感じる。昨年は新型コロナウイルスに翻弄され、制約がある中での活動だったが、今シーズンも怪我や体調管理に気を付け、事故防止に細心の注意を払い頑張りたい」と話した。

11月26日現在の



自己紹介をする大信田会長と役員

雪まる隊の登録者数は、個人43人、団体1381人の合計1424人。除雪ボランティア対象世帯は市内全域で318世帯となっている。

いる。昨年と比べると、雪まる隊の登録者数は179人減少し、除雪を必要とする世帯は63世帯増加している。



祝辞を述べる西山副市長

